



これからの季節 蚊を媒介とする感染症にご注意ください!!

ジカウイルス感染症(ジカ熱)^{※1}・デング熱^{※2}の原因となるウイルスは、それらの感染症に感染した人の血を吸った蚊(ヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

日本人が外国に行くことも増え、外国人が訪日することも増えている昨今、いつこのような感染症が日本に持ち込まれ、流行するかわかりません。

蚊が大量発生するこれからの季節は、蚊に刺されないような対策や蚊を増やさない対策に心がけましょう。

※1 ジカウイルス感染症：感染しても発症しない人もいます。症状は、軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節症、筋肉痛、倦怠感など、妊婦が感染すると胎児に小頭症などの先天障害をもたらす可能性があります。

※2 デング熱：潜伏期間は2～14日、症状は発熱、頭痛、筋肉痛など。まれに重症化する場合があります。

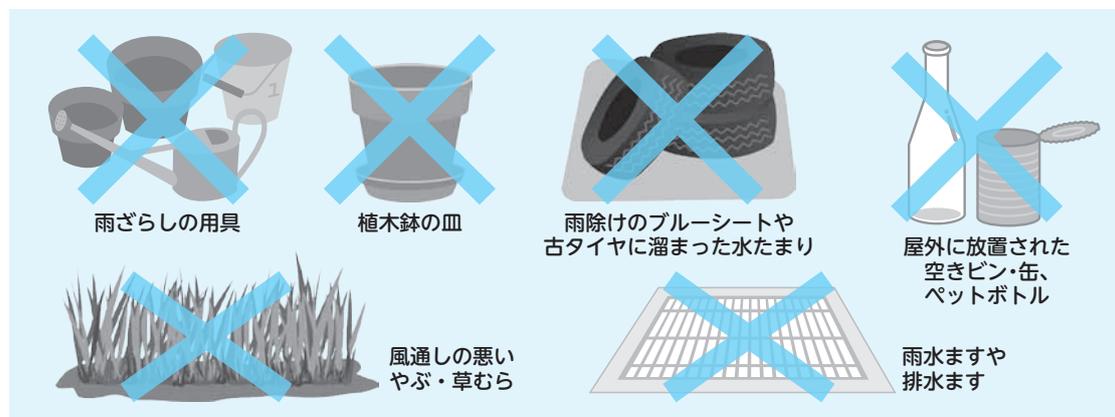
蚊にさされないために

- ・肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する。
- ・素足でのサンダル履きは避ける。
- ・白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ。
- ・露出する部分には、虫除けスプレーなどを使用する。
- ・蚊取り線香や蚊取りマットなどを使って蚊を近づけない。



蚊を増やさないために

空き缶にたまった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、蚊の数を減らすことができます。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

QRコードは
こちら▶

